

第6回 東日本大震災 国際神学シンポジウム

The 6th Great East Japan Earthquake International Theological Symposium

いかにしてもう一度立ち上がるか：これからの100年を見据えて
How can we start again? Centurial Vision for Post-disaster Japan

苦難の中でシャロームを生きる Living out *Shalom* through sufferings

東日本大震災後、2012年から「いかにしてもう一度立ち上がるか—これからの100年を見据えて」をテーマに国際神学シンポジウムを開催してきました。震災から9年目となる2020年、フラー神学大学院とともに第6回国際神学シンポジウムを開催します。今回のテーマは、「苦難の中でシャロームを生きる」です。メインスピーカーには、フラー神学大学院教授で著名な旧約聖書学者であるレスリー・アレン先生をお迎えします。また幅広い分野の神学の先生方からレスポンスをいただきます。

2020年 2月3日（月）10:00AM～5:00PM
会場：お茶の水クリスチャンセンター 8階チャペル

参加費

1,000円(資料・昼食代を含む)

※学生は500円(学生証をご持参ください)

申込制

定員 200名

下記Webサイトからお申込みください。

<https://drcnet.jp>

申込受付開始：2019年12月1日(日)より

※定員になり次第、締め切らせていただきます

※青年の部は別の申し込み窓口となります。

こちらからは申し込みはできません。

お問い合わせ

E-mail: info@drcnet.jp

Tel: 03-5577-4824

お願い：電話でのお問い合わせは受け付けませんが、申込みはお受けいたしかねます。

DRCネット(災害救援キリスト者連絡会)
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル
DRCネット事務局



■レスリー・アレン(Leslie C. Allen)
(フラー神学大学院・旧約聖書主任教授)

ケンブリッジ大学(BA, MA)、ロンドン大学(PhD, DD)。福音派を代表する旧約聖書学者。詩篇、エレミヤ書、哀歌、エゼキエル書など多数の注解書、書籍、論文を執筆している。



■左近 豊(青山学院大学・国際政治経済学部教授)

東京神学大学(MDiv)、コロンビア神学大学院(ThM)、プリンストン神学大学院(PhD)修了。旧約聖書学者。崩壊後の共同体における嘆きとしての哀歌や詩編の研究が専門。



■小山英之(上智大学・神学部教授)

上智大学(BA, MA)、ロンドン大学ヒースロップカレッジ(BD)、ウォーリック大学(MA, PhD)修了。研究分野は、平和学、北アイルランド紛争、カトリック社会思想など。特定非営利活動法人なんみんフォーラム代表理事、府中刑務所英語系教諭



■ランドル・ショート(東京基督教大学・教授・副学長
グローバル担当)

米国アラバマ州出身。アラバマ大学、東京基督神学校、ハーバード大学神学大学院(MTS, Th.D)。2006年より東京基督教大学及び2012年より同大学院で教鞭をとる(旧約聖書)。



■山口陽一(東京基督教大学・教授・学長)

群馬県生まれ、金沢大学、東京基督神学校、立教大学大学院(修士)。東京基督教大学教授(日本キリスト教史、実践神学)、日本同盟基督教団・市川福音キリスト教会協力牧師。

[協賛団体(11/22現在)]

[協賛] アガペCGN、お茶の水クリスチャンセンター、救世軍、日本同盟基督教団、日本福音同盟、日本バプテスト教会連合国分寺キリスト教会、日本福音主義神学会東部部会、聖学院大学総合研究所

[後援] AGST日本校関西研修センター、大阪聖書学院、関西聖書神学校、関西ミッションリサーチセンター、神戸ルーテル神学校、新生宣教団、東京ミッション研究所、東北ヘルプ、日本バプテスト教会連合、日本ローザンヌ委員会、東日本宣教ネットワーク、福音聖書神学校、福島県キリスト教連絡会、福島宣教ネットワーク、CERSネット、クリスチャン新聞

主催：OCC・災害救援キリスト者連絡会(DRCnet)、東京基督教大学、青山学院宗教センター、キリスト者学生会(KGK)、
学生キリスト友愛会(SCF) 共催：フラー神学大学院